

# 中小企業景況調査報告書

(第143回)

平成28年 7～ 9月期 実 績

平成28年10～12月期 見通し

平成28年10月

北海道商工会議所連合会



# 目 次

## I. 調 査 要 領

- 1. 調査時点及び調査対象期間 ..... 2
- 2. 調査対象 ..... 2
- 3. 調査地域及び調査方法 ..... 2
- 4. 業種別・規模別回答状況 ..... 2

## II. 概 況 ..... 3

### 1. 今期の業況

- (1) 今期の業況 ..... 6
- (2) 今期の売上高 ..... 8
- (3) 今期の採算（経常利益） ..... 9
- (4) 今期の資金繰り ..... 11
- (5) 今期の経営上の問題点 ..... 12
- (6) 今期の従業員の動向 ..... 12
- (7) 今期の新規設備投資 ..... 13

### 2. 来期の見通し

- (1) 来期の業況 ..... 14
- (2) 来期の売上高 ..... 15
- (3) 来期の採算（経常利益） ..... 15
- (4) 来期の新規設備投資 ..... 16

# 調 査 要 領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調 査 時 点 平成28年9月
- (2) 調 査 対 象 期間 平成28年7～9月期実績及び平成28年10～12月期の見通し

## 2. 調 査 対 象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

### (2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。また各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

## 3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）  
全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

## 4. 業種別・規模別回答状況（社数）

	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	サービス業	合 計
小 規 模	40	54	41	60	71	273
中 規 模	14	13	16	12	24	75
合 計	54	67	57	72	95	348
構成比(%)	15.7	19.4	16.5	20.9	27.5	100.0

### 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 37 社、建設業 22 社、卸売業 12 社、  
小売業 25 社、サービス業 52 社、合計148社

○本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

○ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

## Ⅱ. 概 況

－業況D・Iはマイナス幅を拡大、来期は回復の動き－



### ■今期の業況

今期（7～9月期）の中小企業景況調査における全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成28年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では▲20.9と前回調査に比べマイナス幅が拡大した。

来期の業況見通しは、▲16.5とマイナス幅を縮小する見通しとなっている。

業種別では、前年同期比では、製造(前回▲22.4→今回▲16.7)、建設(前回▲22.0→今回▲16.5)、卸売(前回▲23.7→今回▲19.3)、小売(前回▲20.3→今回▲27.5)、サービス(前回▲6.8→今回▲24.2)と、小売業・サービス業でマイナス幅が拡大した。

今期の経営上の問題点として、依然として「需要の停滞」が全業種で大きな要因となっている。また、製造業では「製品ニーズの変化への対応」、建設業では「請負単価の低下・上昇難」、卸売業では「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」、小売業では「消費者ニーズの変化への対応」、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」などの問題点が浮上している。

また、新たに設備投資を実施した企業は平均で12.6%〔前回調査時（平成28年4～6月期14.1%）〕、業種別では製造〔前回12.5%→18.9%〕、建設〔前回16.2%→15.2%〕、卸売〔前回5.1%→5.5%〕、小売〔前回17.4%→7.1%〕、サービス〔前回19.1%→16.5%〕と、建設業・小売業・サービス業で設備投資を控える傾向がある一方、製造業・卸売業では実施すると回答する企業が増加した。

## ■産業別の動向

### 【製造業】 [業況D・I値（前年同期比）▲16.8（来期見通し▲9.8）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成28年4～6月期）時点からの推移では、前回▲22.4→今回▲16.7と5.7ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は▲9.8とマイナス幅をさらに縮小する見通し。

〔主なコメント〕

・インバウンド効果が薄れ、売上、出荷量がともに減少、主要原料価格も高止まりで厳しい状況が続いている。（食料品製造業）

・中国経済の減速とEU離脱問題と円安で厳しい状況が続いており、先行きは不透明な状況。

（製鉄業）

・インターネットや通販等により、顧客の地方への発注が増加し売上等が減少している。

（印刷業）

・地元経済の伸び悩みの影響か、新卒雇用も本州方面へ流れている感がある。（製粉業）

### 【建設業】 [業況D・I値（前年同期比）▲16.5（来期見通し▲16.9）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成28年4～6月期）時点からの推移では、前回▲22.0→今回▲16.5と5.5ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は▲16.9とマイナス幅を拡大する見通し。

〔主なコメント〕

・公共事業の減少により、売上減も少している。近隣の農家からの溶接・修理等の需要もあるが、農業者の減少により民間の仕事も年々減少している。（鉄骨・鉄筋工事業）

・工事の進捗状況は順調に推移。新築工事請負状況は低調。（建設業）

・台風の影響で、壁や屋根の損壊などが多く、見積りも取りに行けないほど手が回らない状況。

（屋根・板金加工業）

・メーカーからの材料費の値上げの話も出始めており、来年からの受注の影響が心配。また、職工の不足から工賃の上昇も出始めているので利益確保が課題。（内装工事業）

### 【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比）▲19.3（来期見通し▲25.4）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成28年4～6月期）時点からの推移では、前回▲23.7→今回▲19.3と4.4ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は▲25.4とマイナス幅を拡大する見通し。

〔主なコメント〕

- ・今年に入ってから消費低迷の影響が続き、得意先の廃業もある。法人企業のPRギフトも控える傾向にあり、ネット等での安価な商品が求められている。（贈答品卸売業）
- ・ガソリン価格が下落により、車両関係費は減少したが、昨年度に比べ電気料金の高騰により光熱費は上昇。結果として利益は前年同期と変わらず、横這いである。（農業資材卸売業）
- ・売上・利益が伸びない中、賃金のみ上昇し、経営の悪化。（ペットフード用品卸売業）
- ・年末にかけ鋼材関係の値上げが予想されるが、販売価格の転嫁が難しい現状。  
(ユニットハウス卸売業)

【小売業】 〔業況D・I値（前年同期比）▲27.5（来期見通し▲20.3）〕

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成28年4～6月期）時点からの推移では、前回▲20.3→今回▲27.5と7.2ポイントマイナス幅が拡大した。

来期は▲20.3とマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・大型スーパーなどの販売価格の低下により、安い商品しか売れないため、中小小売店は依然として厳しい状況にある。（飲食料品小売業）
- ・天候不順により農作物の生育が遅れ、野菜等が揃わず販売に影響があった。（スーパー）
- ・お盆時期は好天が続き、観光や帰省などでの来店件数は増加し、燃料油販売量や洗車作業が増加する一方、過当競争体質が依然としてあり、収益性は上がらない。（燃料小売業）
- ・地域の人口減によるものか客数の減少傾向が見られる。（コンビニエンスストア）

【サービス業】 〔業況D・I値（前年同期比）▲24.2（来期見通し▲10.1）〕

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成28年4～6月期）時点からの推移では、前回▲6.8→今回▲24.2と17.4ポイントマイナス幅が拡大した。

来期は▲10.1とマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・最低賃金があがると経費もかさんでくるが、103万円の枠がある限り、働ける時間数も減ってくるので人を増やしたいが、募集をかけても集まらないのが現状。（清掃業務全般）
- ・個人の遊休不動産が増加しているが、新規開業や居住につながらず、売上が減少。マイナス金利の中、住宅ローン借換は増加しているが、新規購入者は減少している。（不動産業）
- ・コンビニの増加により、昼食時のランチ客が減少。宴会・仕出しの注文も大手に取られている状況であり、厳しい状況。また、後継者への事業承継も不安な状況となっている。（飲食業）
- ・8月末から9月にかけての台風の影響により、ホテルの予約取消が相次ぎ、道北・道東のホテルで前年比減。（ホテル）
- ・夏季の稼働率が思うように伸びず、大苦戦。受注の単価も下落傾向になってきており、今後も厳しい状況になる見込み。（運送業）
- ・業種的に天候に左右される面が大きく、電気料金等のコスト上昇に加え、雇用面での人材確保など厳しい状況が続いている。（クリーニング）

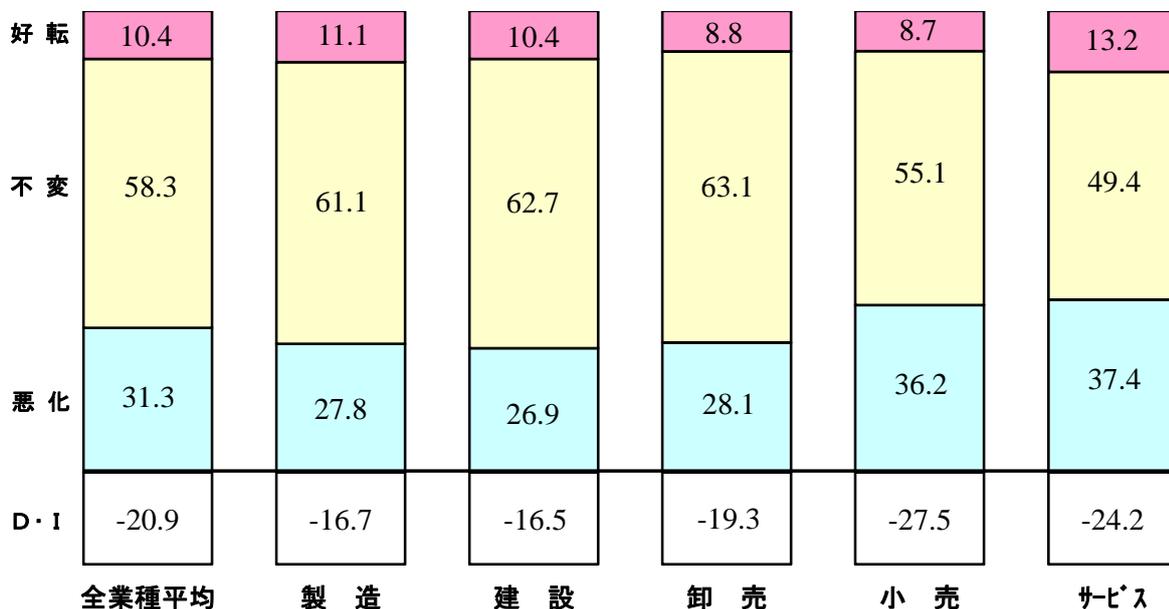
# 1. 今期の業況

## (1) 今期の業況

【前年同期比】（平成27年7～9月期の水準と比較した今期の業況）



### 今期の業況（前年同期比）

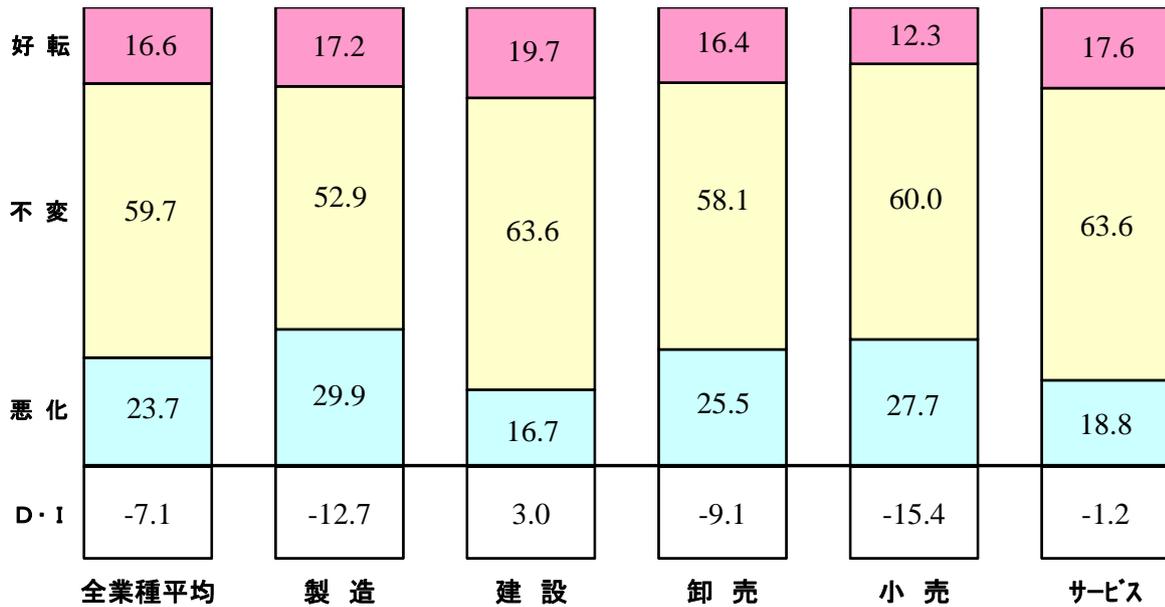


全業種平均でD・I値▲20.9〔前回調査時（平成28年4～6月期▲19.0）より1.9ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回▲22.4→▲16.7〕、建設〔前回▲22.0→▲16.5〕  
卸売〔前回▲23.7→▲19.3〕、小売〔前回▲20.3→▲27.5〕  
サービス〔前回▲6.8→▲24.2〕

【前期比】（平成28年4～6月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況（前期比）

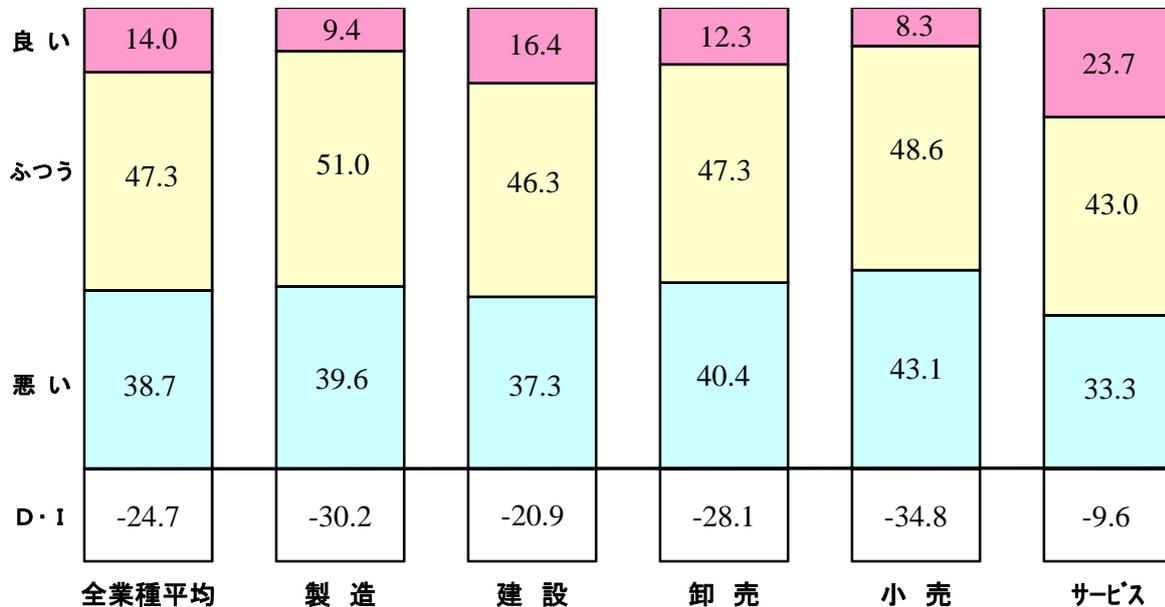


全業種平均でD・I値▲7.1〔前回調査時（平成28年4～6月期▲12.9）より5.8ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回▲14.8→▲12.7〕、建設〔前回▲14.7→ 3.0〕  
卸売〔前回▲ 8.8→▲ 9.1〕、小売〔前回▲25.4→▲15.4〕  
サービス〔前回▲ 1.2→▲ 1.2〕

【今期の水準】

今期の業況（今期の水準）



全業種平均でD・I値▲24.7〔前回調査時（平成28年4～6月期▲27.3）より2.6ポイントマイナス幅が縮小〕。

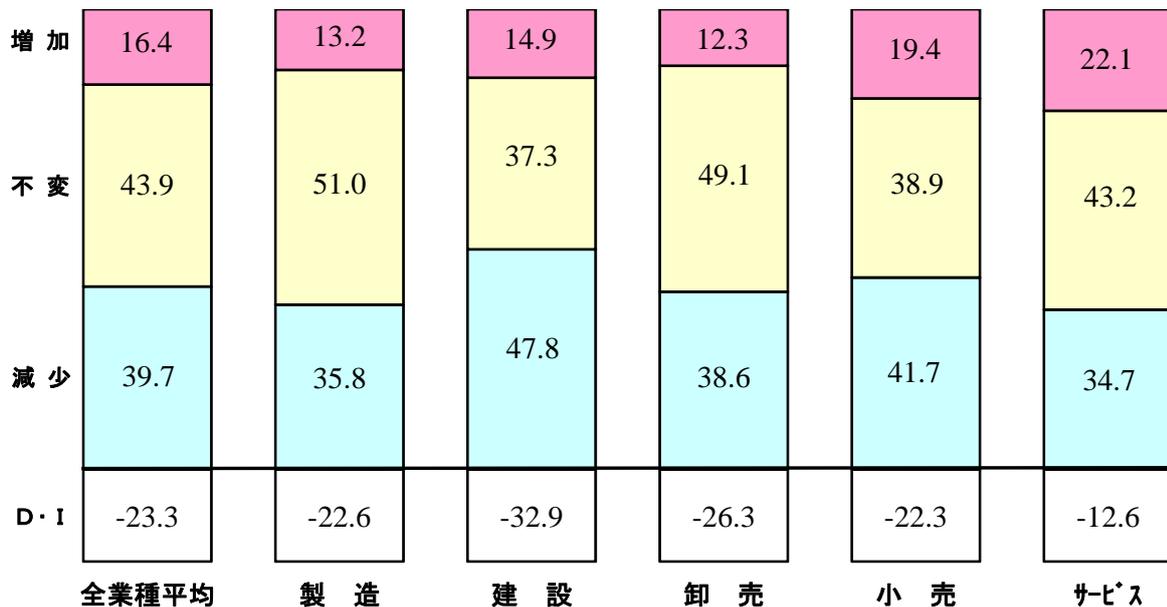
〔業種別D・I値〕 製造〔前回▲22.4→▲30.2〕、建設〔前回▲27.6→▲20.9〕  
卸売〔前回▲37.3→▲28.1〕、小売〔前回▲32.3→▲34.8〕  
サービス〔前回▲16.7→▲9.6〕

## (2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成27年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）



### 今期の売上高（前年同期比）

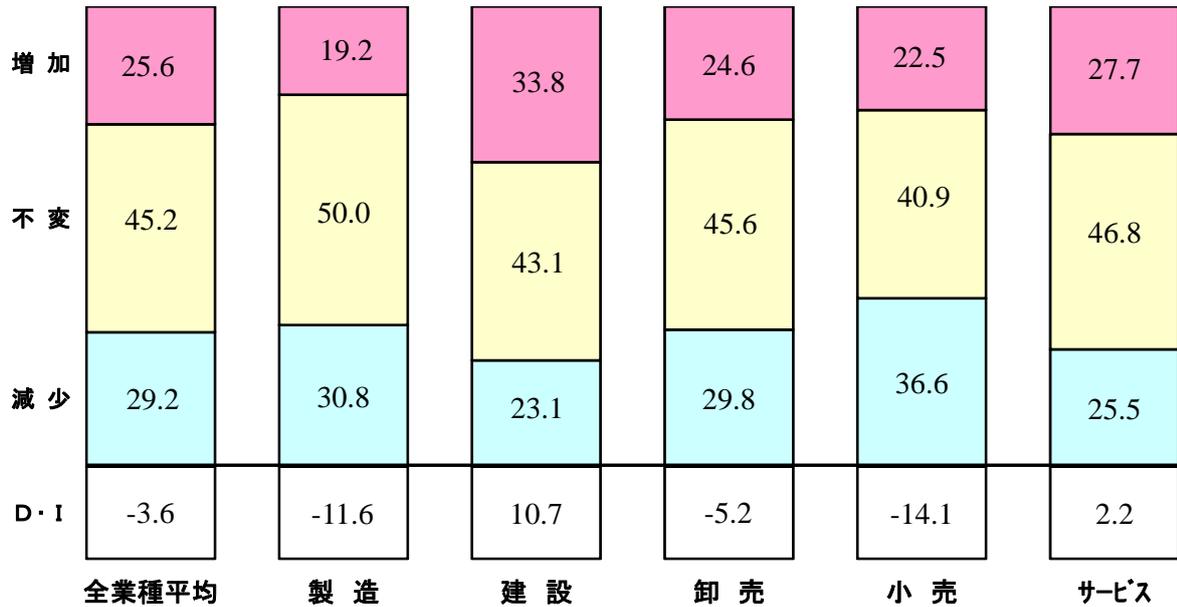


全業種平均でD・I値 ▲23.3〔前回調査時（平成28年4～6月期▲22.9）より0.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回▲19.0→▲22.6〕、建設〔前回▲30.4→▲32.9〕  
卸売〔前回▲35.5→▲26.3〕、小売〔前回▲15.5→▲22.3〕  
サービス〔前回▲14.3→▲12.6〕

【前期比】（平成28年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）

今期の売上高（前期比）



全業種平均でD・I値 ▲3.6〔前回調査時（平成28年4～6月期▲1.1）より2.5ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回▲3.5→▲11.6〕、建設〔前回▲11.8→10.7〕  
卸売〔前回15.3→▲5.2〕、小売〔前回▲1.4→▲14.1〕  
サービス〔前回▲4.4→2.2〕

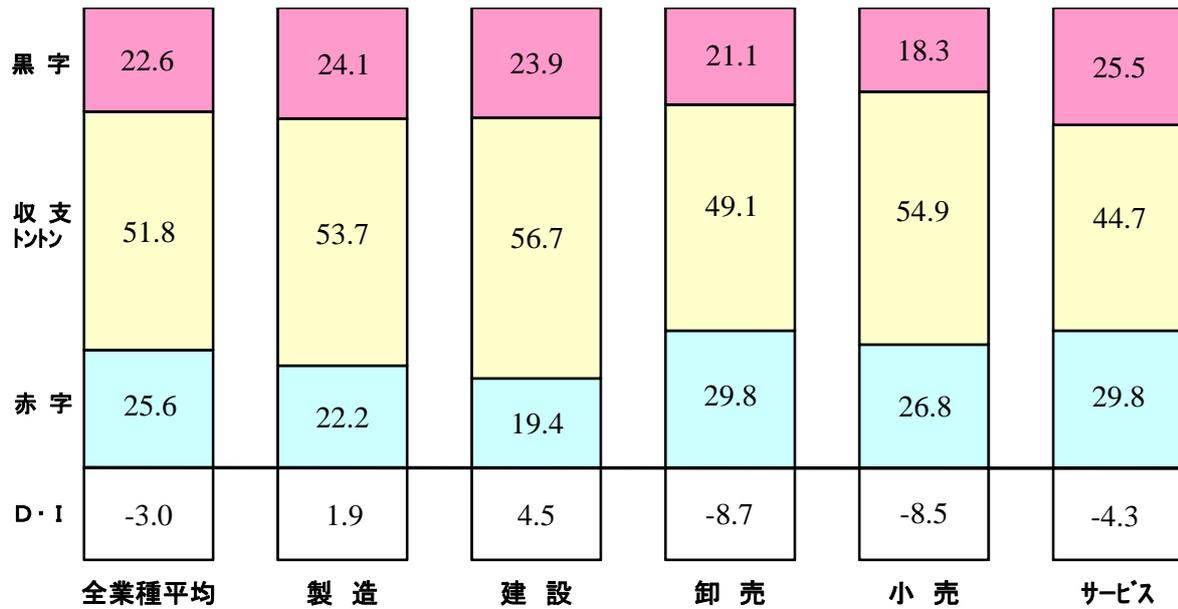
(3) 今期の採算（経常利益）

【今期の水準】

採算推移（全業種平均D・I）  
（黒字－赤字）



今期の採算（今期の水準）

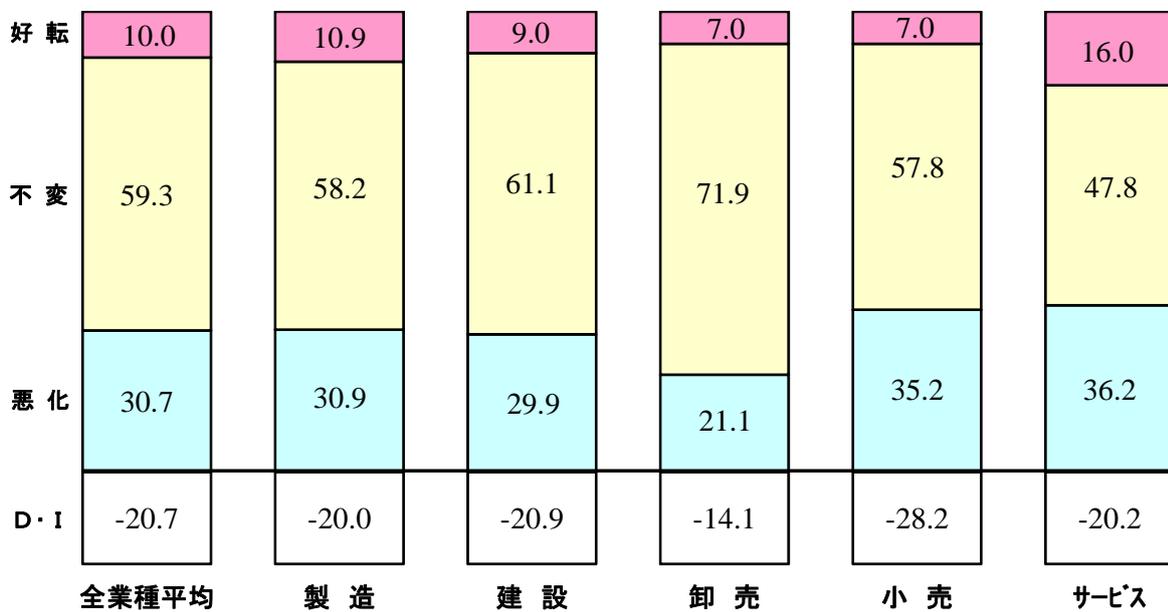


全業種平均でD・I値▲3.0〔前回調査時（平成28年4～6月期▲3.6）より0.6ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 6.9→ 1.9〕、建設〔前回 1.4→ 4.5〕  
卸売〔前回▲10.1→▲ 8.7〕、小売〔前回▲12.7→▲ 8.5〕  
サービス〔前回▲3.3→▲4.3〕

【前年同期比】（平成27年7～9月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）

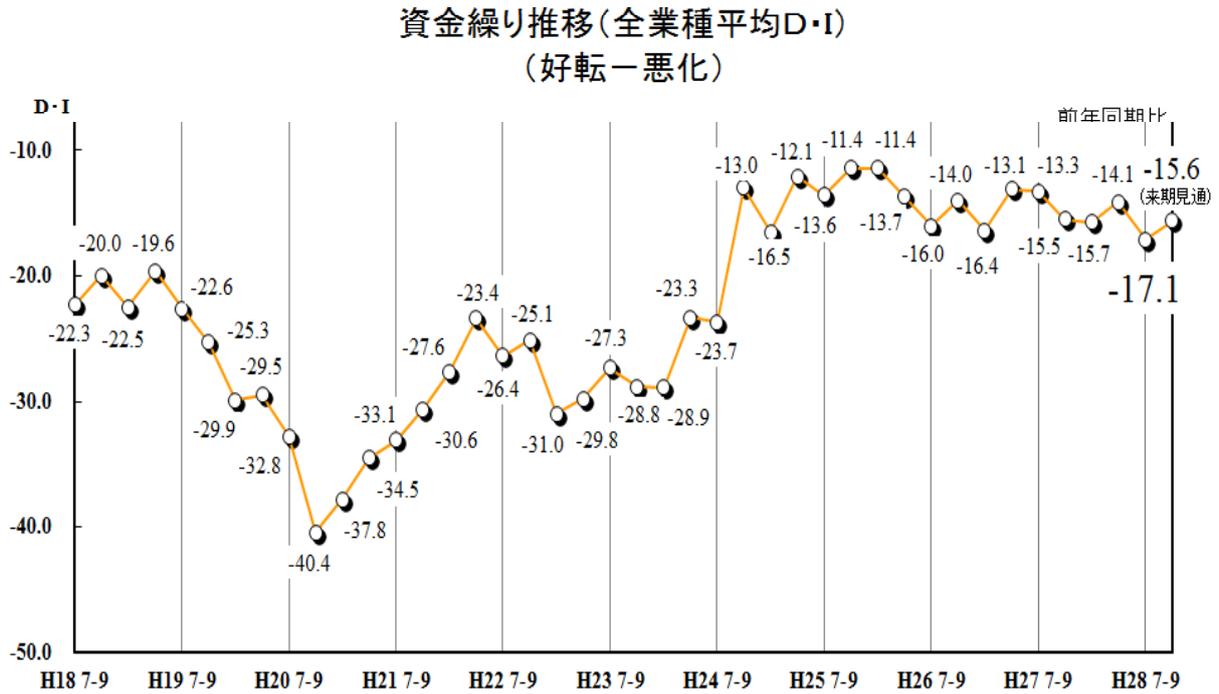


全業種平均でD・I値▲20.7〔前回調査時（平成28年4～6月期▲17.3）より3.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

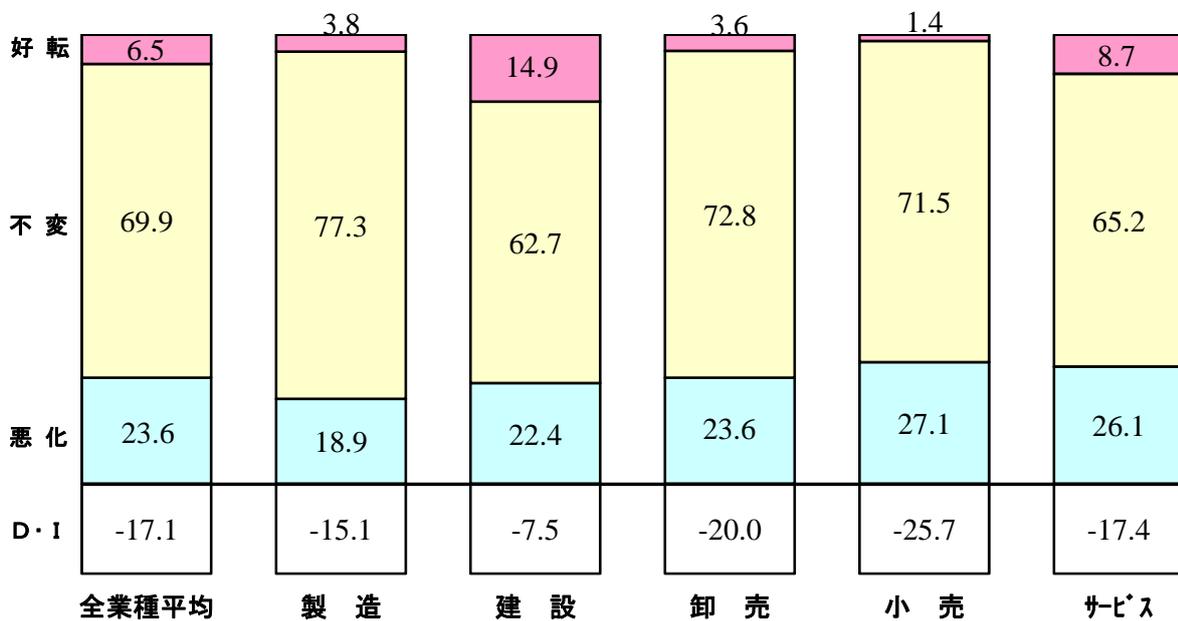
〔業種別D・I値〕 製造〔前回▲10.7→▲20.0〕、建設〔前回▲22.8→▲20.9〕  
卸売〔前回▲20.7→▲14.1〕、小売〔前回▲18.3→▲28.2〕  
サービス〔前回▲13.9→▲20.2〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成27年7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り (前年同期比)



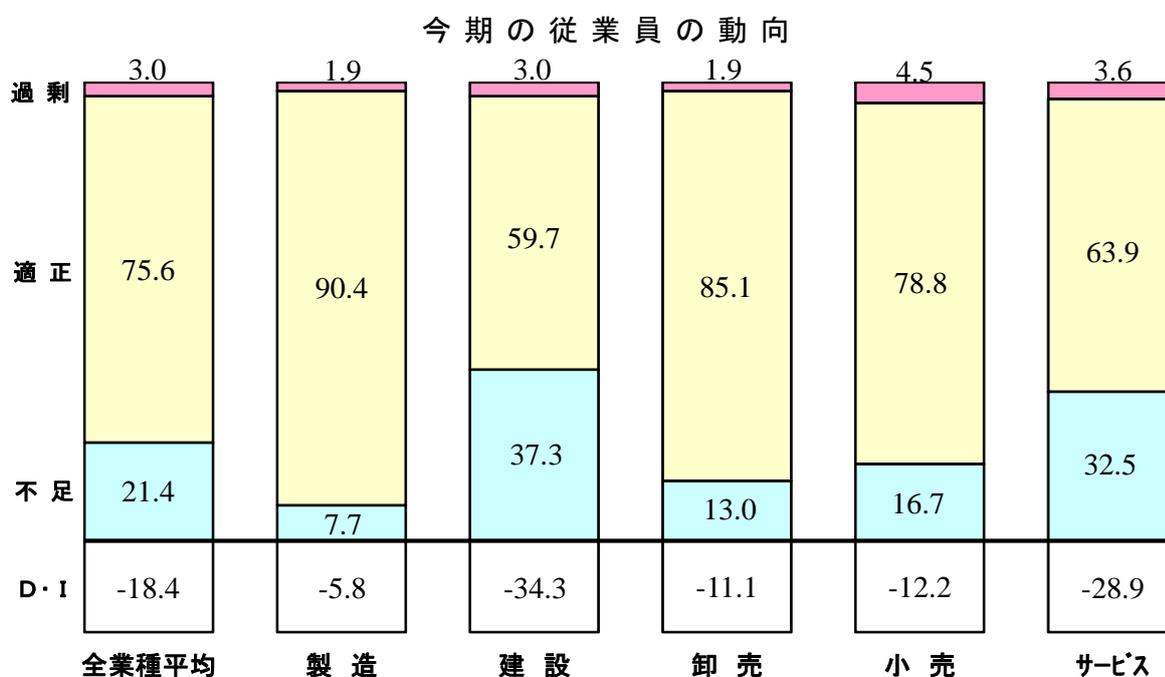
全業種平均でD・I値▲17.1〔前回調査時（平成28年4～6月期▲14.1）より3.0ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回▲8.6→▲15.1〕、建設〔前回▲8.8→▲7.5〕  
卸売〔前回▲18.6→▲20.0〕、小売〔前回▲20.0→▲25.7〕  
サービス〔前回▲14.8→▲17.4〕

(5) 今期の経営上の問題点（上位に挙げられた項目）

製造業	「需要の停滞」	(25.6%)	[前回 26.1%]
	「製品ニーズの変化への対応」	(16.3%)	[前回 23.9%]
	「製品（加工）単価の低下・上昇難」	(11.6%)	[前回 8.7%]
建設業	「官公需要の停滞」	(18.0%)	[前回 27.0%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(16.4%)	[前回 3.4%]
	「従業員の確保難」	(13.1%)	[前回 11.8%]
卸売業	「需要の停滞」	(39.1%)	[前回 37.4%]
	「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」	(10.9%)	[前回 3.9%]
	「仕入単価の上昇」	(10.9%)	[前回 7.8%]
小売業	「需要の停滞」	(23.4%)	[前回 22.0%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(18.8%)	[前回 16.9%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(12.5%)	[前回 16.9%]
サービス業	「利用者ニーズの変化への対応」	(26.9%)	[前回 25.5%]
	「従業員の確保難」	(14.6%)	[前回 6.8%]
	「需要の停滞」	(13.4%)	[前回 20.2%]

(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では▲18.4〔前回調査時（平成28年4～6月期▲13.3）〕と、前回調査時に比べ不足と回答する企業が増加した。

[業種別D・I値]	製造〔前回▲8.9→▲5.8〕	(適正90.4%)
	建設〔前回▲7.5→▲34.3〕	(適正59.7%)
	卸売〔前回▲12.9→▲11.1〕	(適正85.1%)
	小売〔前回▲7.6→▲12.2〕	(適正78.8%)
	サービス〔前回▲29.9→▲28.9〕	(適正63.9%)

## (7) 今期の新規設備投資

### 新規設備投資実施の動向（全業種平均％）



（単位％）

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	18.9	15.2	5.5	7.1	16.5	12.6
土地	20.0	0.0	0.0	20.0	6.7	9.3
工場建物、建物、店舗	40.0	10.0	0.0	0.0	13.3	12.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	60.0	20.0	0.0	40.0	6.7	25.3
車両運搬具	20.0	20.0	33.3	0.0	40.0	22.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	10.0	10.0	66.7	0.0	20.0	21.3
OA機器	20.0	40.0	0.0	20.0	33.3	22.7
厚生施設	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	6.0
その他	0.0	0.0	0.0	20.0	13.3	6.7
実施していない	81.1	84.8	94.5	92.9	83.5	87.4

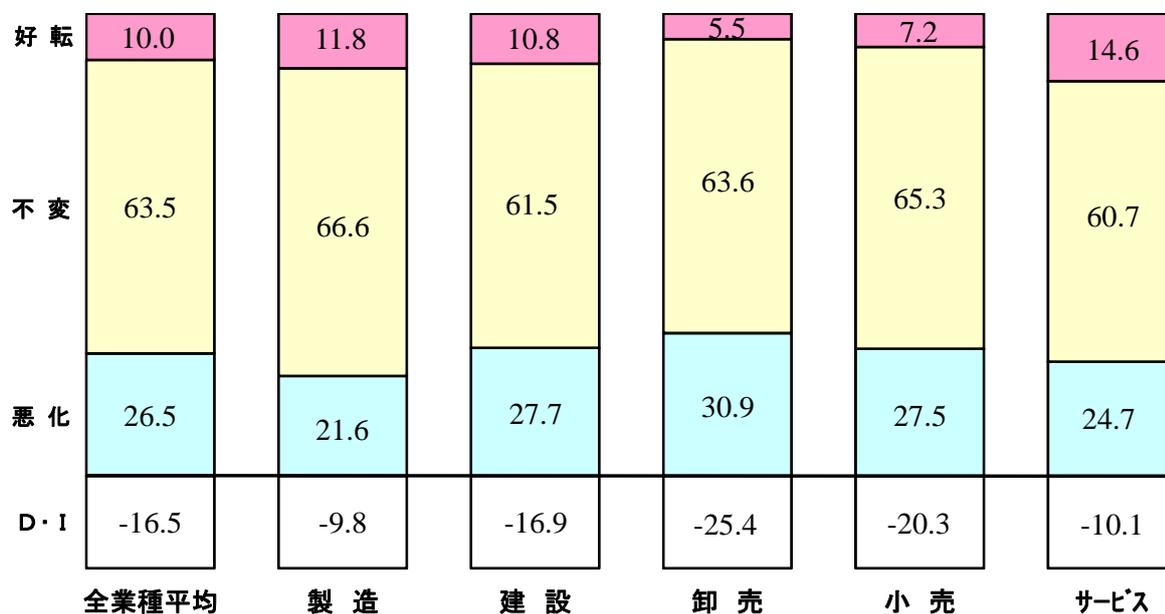
新たに設備投資を実施した企業は平均で**12.6%**〔前回調査時（平成28年4～6月期14.1%）〕、業種別では製造〔前回12.5%→18.9%〕、建設〔前回16.2%→15.2%〕、卸売〔前回5.1%→5.5%〕、小売〔前回17.4%→7.1%〕、サービス〔前回19.1%→16.5%〕と、建設業・小売業・サービス業で設備投資を控える傾向がある一方、製造業・卸売業では実施すると回答する企業が増加した。

## 2. 来期の見通し

### (1) 来期の業況

【前年同期比】（平成27年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

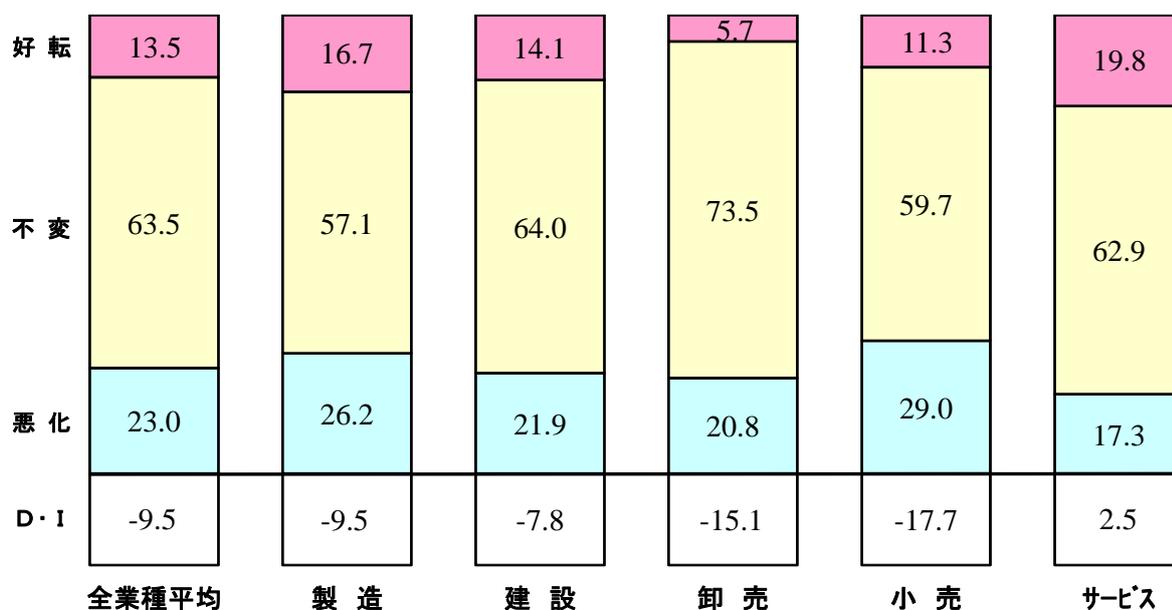
来期の業況見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値▲16.5〔今期の業況（前年同期比▲20.9）より4.4ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

【今期比】（平成28年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

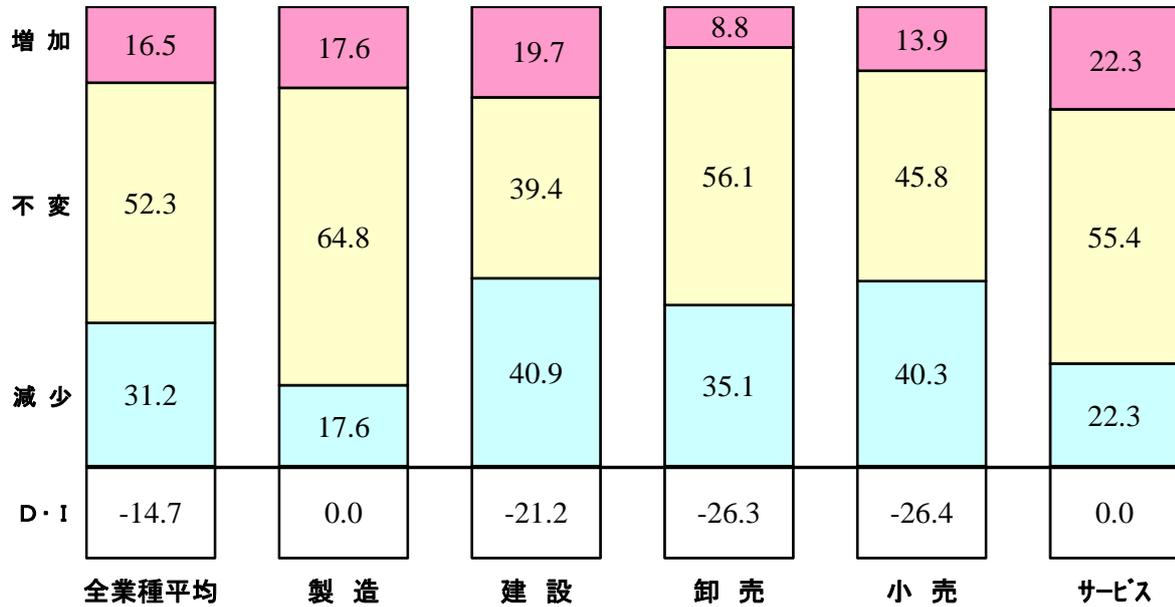
来期の業況見通し（今期比）



## (2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成27年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

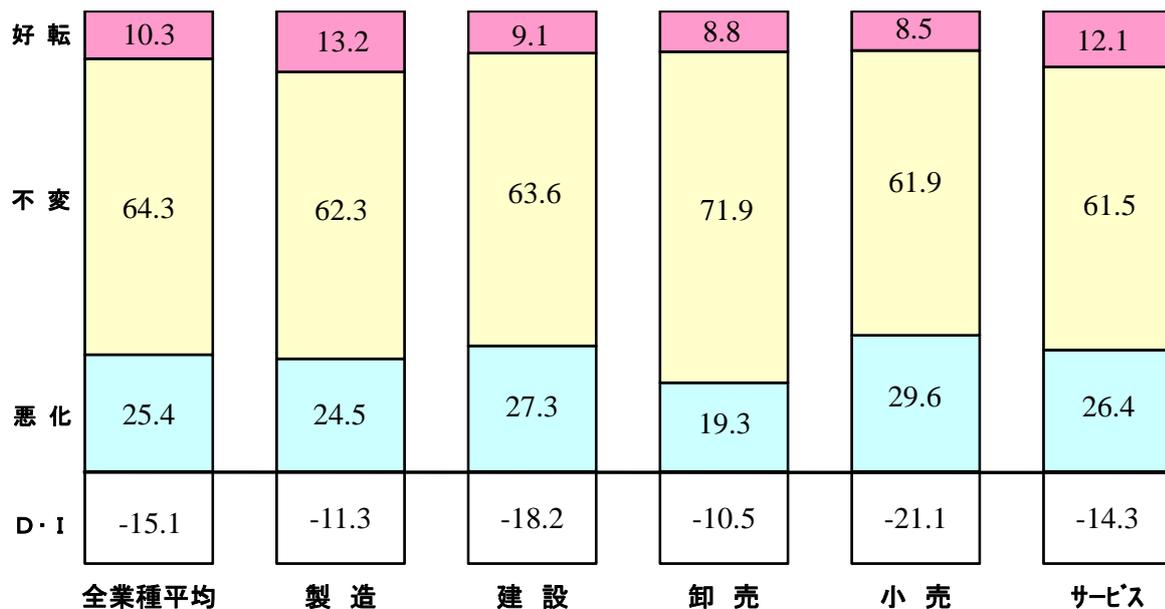


全業種平均でD・I値▲14.7〔今期の売上高（前年同期比▲23.3）より8.6ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

## (3) 来期の採算（経常利益）

【来期】

来期の採算見通し



全業種平均でD・I値▲15.1〔今期の採算（今期の水準▲3.0）より12.1ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

#### (4) 来期の新規設備投資

(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	20.8	24.2	13.0	8.5	13.5	16.0
土地	9.1	0.0	0.0	33.3	8.3	10.1
工場建物、建物、店舗	36.4	18.8	14.3	33.3	8.3	22.2
生産・販売・サービス設備、建設機械	54.5	12.5	14.3	16.7	33.3	26.3
車両運搬具	36.4	18.8	28.6	50.0	25.0	31.8
倉庫・駐車場等の付帯施設	18.2	12.5	28.6	0.0	25.0	16.9
O A 機器	27.3	12.5	14.3	16.7	33.3	20.8
厚生施設	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
その他	0.0	31.2	0.0	16.7	16.7	12.9
実施しない	79.2	75.8	87.0	91.5	86.5	84.0

来期、新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**16.0%**となっており、  
今期12.6%と比べ設備投資を実施する見通し。

業種別では、製造〔今期18.9%→20.8%〕、建設〔今期15.2%→24.2%〕、卸売〔今期  
5.5%→13.0%〕、小売〔今期7.1%→8.5%〕、サービス〔今期16.5%→13.5%〕となってい  
る。